

◇ 一徳坊山・編笠山

10月14日(日) 曇り時々晴れ 佐々木(記)

岩湧山のススキの季節、河内長野駅から臨時便が出るほどの滝畑ダムへのバス(9:04)で出発。中日野で下車したのは私一人、静かな山を歩いてきました。

バス道から逸れて、二股を山側へ(9:25)。貯水池から左へ、竹林のハッキリした谷道を辿ると、程なく杉の植林道となる。やがて明るい尾根道から、山裾を巻くようにして綺麗な作業林道で高度を稼ぐ。所々に台風の爪痕があるが、歩くには問題無い。

木洩れ日の射す、杉と自然林のなだらかな道を登り下りしながら、頂きへの分岐を目指す。旗倉山への分岐(不明瞭)のチョットした鞍部を過ぎると、これもチョットした見晴岩(眺め良好10:38)。ここから程ない鉄塔からはさらに良好で、禿山のようなススキの岩湧山がはるか向こうに見える事が出来る。

鉄塔からの登り・下りは、急になる。古木の倒れが目立つが、手入れが進んでいて歩行には支障はない。扇畑谷乗越(10:58)、左はスズメ谷・ナメシ谷林道に続く。

ここからの一徳坊山への道は、階段道で(関電の点検道?)急坂だ。一部、崩れ有り注意! 一徳坊山(541m、11:20)、木々の間からの眺めだけである。

眺めの良いのは、一徳坊三角点(544.3m、11:45)鉄塔のあるピークである。

少し下った後はほとんどの登り、タツガ岩(12:40)。続いて編笠山(635m、12:47)。残念ながら、雲が出てきてせつかくの眺めが寂しかったのですが、この山でススキを見る事が出来ただだ一か所の場所でした。

少し下ると林道に出会う。ここで昼食にする(13:10)。帰りは、岩湧寺への道標を辿り、ちょっと判りにくい分岐を「すぎこだちの道」へ。舗装道を超えて直進しP6に向けて階段道を下る。P6(14:25)からは車道を下り、神納バス停又は少し下の南青葉台バス停(15:26着、便数多い15:54発)から河内長野へ。

